

## 第 43 回 一宮市地域公共交通会議議事録

### 【開催日時】

2024 年 5 月 28 日（火） 9：30～12：00

### 【開催場所】

一宮市役所本庁舎 14 階 1401 会議室

### 【傍聴人】

10 人

### 【議事内容】

#### 1. 開会

#### 2. 議題

##### 報告事項

#### (1) 市内バス路線等の利用実績

- ・事務局より資料説明
- ・名鉄バスの利用について、他地区と同様に、90%程度まで利用が戻っている。夜間の利用が大変少なくなっている状況であり、その影響や 2024 年問題の影響で、深夜バスは運休している。(名鉄バスより追加説明)
- ・分析シートについては、整理し把握するために作成していただいた。また、利用者数はこれまで増加しましょう、収支率も上げましょう、負担額を減少させましょうという目標であった。ただし、運行経費が増加傾向にあり、また運転手不足の深刻化等の影響により、利用者が増加しても、収支率の増加は見込めない時代となっている。収支率を良くすることを目的としてサービスを低下させても良いのか、もしくは、収支率は低くてもサービスは維持するか、または、あえて我慢して投資しサービスを向上させるべきか。これを考えていく必要がある。

《質疑応答》

- ・経費について、質問したい。国庫補助の路線について、教えていただきたい。  
→千秋町、大和町・萩原町コースの収入には、地元協賛金も含んでいる。地域間幹線について、平成合併前の市町村を跨ぐ路線については、国庫補助の対象となる。(会長より回答)
- ・尾西北コースは、旧尾西を運行しているが、国庫補助の対象にはならないのか。  
→国庫補助については補助要件が多様に設定されているため、当該コースは該当しない路線となっている。支局とも改めて確認したい。(事務局より回答)

《意見・要望》

- ・収支率は健康保険料金の負担と同様に考えていただきたい。23%は個人負担、77%は公的負担であり、i-バスは3割負担より少ない状況である。なお、多寡の良し悪しについては簡単には言えない。また、乗務員不足も考慮し、考えていく必要がある。
- ・木曾川・北方コースについて、国庫補助が入っているが、補助要件として15人以上の利用者が必要となる。コロナ禍の間は考慮していたが、緩和措置が解除される予定であり、更なる利用促進を実施して頂きたい。
- ・i-バスミニ、デマンドなど多様な方法はあるが、多くの方に乗りあって移動していただく事を考えたときに、どうしていくのが良いか。この1～2年の大きな検討課題である。木曾川・北方コースの見直しも大きな課題である。国庫補助をいただけの路線かどうか、微妙な路線となっている。イオン線については、コロナ前より利用が増加しており、大変良い路線である。
- ・タクシーの乗務員は増加傾向にあり、供給は戻ってきている。ただし、萩原町でタクシー会社が1社撤退されるため、一宮市全体としては厳しい状況になると想

定している。タクシーの空白地域は大変であり、名鉄タクシーへ営業権を2両譲り受け、対応している状況である。

- ・局地的に大きな影響がでる場合がある。今後も、支局やタクシー事業者より、市役所へ情報提供をお願いしたい。

## (2) 小中学生 i-バス無料ホリデーの結果について

- ・事務局より資料説明

### 《意見・要望》

- ・話題作りは良いことであるが、効果をきちんと検証する必要がある。例えば、熊本で無料デーを実施しているが、きちんと効果検証を行い、次の施策につなげている。また、費用対効果については、他の経費も考慮すると、過大評価とっていないか。さらには、子どもの保護者からすると、夏休みに実施していただけるとありがたい。具体的な使い方を見込んだ施策展開をお願いしたい。未就学児の保護者を無料とするなど、対象の拡大も検討いただけると尚良い。みんなでベビーカーと乗るというムーブメントを起こすなど、検討していただきたい。
- ・こども達は、今回の無料券をいただいた時に大変喜んでいた。しかし、i-バスが運行していない地域の居住者には利用が難しい。そのため、春休みに無料券を活用してお出かけを計画していたが、断念した。ある程度は、しょうがないことではあるが、例えば、バス停の近くに自転車がおければもっと利用してもらえるのではないか。
- ・最初はi-バスで実施しているが、今後は名鉄バスでも利用できると良い。費用が担保されれば対応していただけるか。  
→近年は、コミバスと民間バスをあわせて、一律の施策を取られる地域が多いため、抵抗は少ない。ただし、ICカードであればデータが取得できるが、紙券と

なると乗降データが取れない。また、乗務員の手動対応が課題である。その他、夏休みの実施については、プールが沿線にある場合は利用が多く見込まれるため、続行便の対応等の事前の協議が必要になるといった課題がある。(名鉄バスより回答)

- ・名鉄バスの利用について、前向きに検討していただきたい。また、どうすれば乗ってもらえるか、次につなげるために考えていきたい。
- ・高齢者向けの無料パスを配布しても、利用方法が分からず、活用できない地域がある。このように、施策を実施するのであれば、子供向けの使い方などの情報ツールを提供していく必要がある。これを機にバスを利用するトレーニングとして捉えて、将来に向けた投資とすることが重要である。東三河地区では、広いエリアで50円バスを運行している。無料であれば、運賃支払いがなく勉強にならないため、あえて有料としている。親子で一緒にバスを知るきっかけとして、進めていただきたい。
- ・子供向けに乗り方教室を実施すると、やはり降車ボタンを押すこと、運賃を支払うことに憧れがある。多様な層に対して、多様な施策が考えられる。マップ制作を募集するなど、市民の協力も得ながら、進められると良い。

### (3) 福祉車両による買い物支援の実施状況について

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・これはボランティア実施か。  
→無償で運行している。(事務局より回答)
- ・大変よい取組であると感じた。利用者数は増えているのか、また、利用者の声も聴きたい。

→正確な人数は、市として把握していない。(事務局より回答)

《意見・要望》

- ・地域で一生懸命に実施していることに敬意を表す。今後の継続性も考慮すると、有償に移行していく必要があるのではないか。
- ・無償の場合、属人的な取組になり、継続性の担保は低い。また、この取組については、計画には記載していない取組である。バスが運行していない地域や時間において、行政として地域として、どう移動を支援していくか、移動に困っている方の支援を考えていくことが重要である。
- ・地図を見ても、本当に困っている地域であり、属人的な取組でも実施していただくとありがたい状況である。タクシーも配車が難しい地域が増加していくことが想定できるため、是非、このような取組は継続していただきたい。
- ・報告事項を結果のみ報告されても、対応に困る。市としてどう考えているのか、方針を示して頂きたい。委員より、どのような意見を出していただきたいか、ご検討いただきたい。

→今後は、市の視点等も記載させていただく。(事務局より回答)

- ・買い物支援については、公共交通か福祉かわからない境界領域である。お互い遠慮しているとカバーできないこととなるため、本会議でも議題にあげて考えていきたい。どうしていくべきか、もっと広めるべきか、困っている地域はあるのか、委員から意見をいただくと良い。
- ・同じ方の利用が多いのか、それとも多様な方が利用されているのか。地域全体で理解されている取組なのか。また、このような取組が出てくるということは、行政からの仕組みがきちんと提供できていない表れでもある。iーバスミニの検討の参考となるため、具体的な使われ方も調べていただきたい。

## 協議事項

### (4) 令和4年度および令和5年度一宮市地域公共交通会議決算について

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・改めて説明をお願いしたい。

→追加で説明。(事務局、会長)

- ・令和6年度はどのような予定か。

→令和6年度について、国庫補助金は運行事業者に直接受託いただく予定であり、公共交通会議の予算はない。(事務局より回答)

《意見・要望》

- ・資料4では「(案)」の記載がないが、本会議で「決算書(案)」について、議決したのち、「(案)」を削除いただくなど、分かりやすい資料をお願いしたい。また、何を議決する必要があるのか、きちんと整理して示していただきたい。

《議決》

- ・「決算書(案)」をお認め頂ける方は挙手をお願いしたい。(一同：挙手にて了承)

### (5) 令和7年度地域公共交通計画認定申請書の提出について

- ・事務局より資料説明

《意見・要望》

- ・生産性向上の取組について、新しい取組の実施時期が令和6年10月となっているが、令和7年度中のイメージで良いか。分かりやすい記載に変更したほうが良いのではないか。

- ・ご指摘通り、令和7年度中の実施であれば、分かるように記載いただきたい。具体的な年月日を記載するか、または、「継続実施」と記載していただいてもよい。
- ・この資料を提示されても、特に、市民委員には分からない。委員の議決は、大変重いことである。しかし、この資料では大変分かりにくい。簡潔に説明いただきたい。生産性向上の取組について、記載されている取り組みは利用促進の施策であり、生産性向上の取組ではない。経費が増加している昨今、難しいことではあるが、真面目に対応していただきたい。例えば、アイドリングストップを記載している事業者もあり、姿勢としてはこちらの方が正しい。
- ・ご指摘いただいた点は理解できるが、説明資料まで作成すると、大変な作業となるため、一定の理解をいただきたい。ただ今後は、説明内容を絞ってお願いしたい。生産性向上の取組については、例えば、これまでの継続実施は生産性向上に直接つながらないが、バスマップの改良により、子ども等の利用増加を見込むということであれば、生産性向上につながる。
- ・この議題に時間をかけることが無駄である。会議の生産性向上をお願いしたい。
- ・輸送量の推移を提示していただいた方が、危機感が伝わるのではないかと。また、来年には、木曾川・北方コースが国庫補助の対象外となるため、見直しが不可避である。
- ・公共交通計画に基づき、資料を作成していただいている。委員には、毎年確認頂くこととなっており、大枠の全体としてご確認いただければと思う。
- ・生産性向上の取組について、一般的に、利用促進策の記載が多い。経費削減の視点は少ない状況である。長期的な視野も考慮し、せっかく実施した小中学生iーバス無料ホリデーの取組なども追記してはどうか。

《議決》

- ・申請書について、お認め頂ける方は挙手をお願いしたい。(一同：挙手にて了承)

### 3. その他

#### (1) シルバーパス65・ゴールドパス70の購入費用の一部負担の実施について

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・どこで宣伝しているのか。

→多くの方に利用していただきたいと考えているため、市より65歳になったときに介護保険の資料を配布しており、その際に、あわせてチラシを配布している。  
また、公共施設等でも掲示している。

《意見・要望》

- ・補助をして頂き、誠にありがとうございます。コロナ禍でも、右肩上がりで利用が増加している商品である。全線利用可能であり、ご年配のお出かけ機会の支援として支持されていると考える。市内ほぼ全域を運行しており、有効なため、利用促進策として進めていただきたい。
- ・更なる利用に向けて、周知の取組も改善を図りながら進めていただきたい。

#### (2) デジタルチケット・市内バス路線利用促進事業

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・この取組と、マイクロ MaaS サイトの構築とは異なるのか。

→マイクロ MaaS について、WEB サイトで交通情報の集約をしたいと考えている。

(事務局より回答)

- ・タクシーを呼ぶと記載があるが、具体的にはどのような取組か。

→最終的には、タクシーとも連携し呼べると良いが、今年度は、タクシー事業者の電話番号案内にとどまると考えている。(事務局より回答)

#### 《意見・要望》

- ・MaaSを導入したから、直ぐに利用が増加する訳ではなく、課題解決のひとつとして、行政と連携して利用促進に取り組んでいきたいと考えている。長い目で見て、市民の意見を聞きながら、試行錯誤しながら、進めていきたい。
  - ・本取組は、「施策 12 公共交通網の整備」ではないのではないか。名鉄アプリを活用させて頂けるのはありがたいことであるが、小さい市町村で取組んでも効果が小さい。
  - ・一宮市だけではなく、愛知県、岐阜県全域で活用できるようにしていくことが重要である。その中で、一宮市でも利用できたり、健康増進等の施策と連携できたりすることなどが有効である。例えば、モーニングと交通の連携が考えられる。そのため、一宮版 MaaS と銘打つのは考え直した方が良い。名鉄にもご検討いただき、一宮市で何ができるか深めていただきたい。
- はじめて取り組む内容であり、スモールスタートとしており、今年度はこのような企画で進めたい。(事務局より説明)

### (3) その他

- ・2024年問題が大変深刻である。「愛知県バス会社合同就職説明会」は、従来、秋に実施していたが、春にも実施予定である。市民の皆さまにも厳しい状況をご理解いただき、ご興味のある方に広めていただきたい。
- ・本当に基礎的な部分であるため、実施していることを認知いただき、広めていただきたい。バス 2024年問題については、多様なところで発信している。

- ・冒頭に三者択一の問題として、補助金をどんどんつぎ込むのかどうかというような話があった。我々市議会の間人として市民の生活を守るという立場もあり、交通弱者を守るという観点から補助金等を出したいという気持ちはある。請求していただければ、我々議員で議決して予算をつけることができるが、ただ湯水のごとくあるわけではない。市も税収というものが必要であり、税収をアップするにはどうすればよいかをまず考えなければならない。そのうちの1つとして、固定資産税の増加による税収の増加がある。例えば、今年令和6年度には、市街化調整区域に住む家を増やすため、これまで50年住んでいないと建てられないところを、30年に下げるといった規制緩和を行った。今日バス路線の話があったが、バスや電車の路線が全国で廃止になったりしている。しかし、バスや電車の路線を減らしたりされると、住民がそこに住み着かなくなる。ぜひ運行業者の皆様には、バス路線の廃止を考えないでほしい。また、尾西のほうはバスが大型のため、交通弱者が大型バスの停留所まで歩いていかなければならない。できればバスを小型化し、細かく守られるようにしていただけるとありがたい。停留所を減らすのではなく増やしていただき、生活がしやすいように、交通弱者にならないように、買い物に行きやすいように、病院に通いやすいように、また学生さんたちがうまく電車へ乗り継ぎができるように、そのあたりを考えていただきたい。
- ・1回私の講演を聞いてほしい。勉強は大事だと思う。最近は議会への講演も多くなっている。議会の関心も高まっているので、私の講演を聞くとみんなびっくりしたと言う。本当にあるべき公共交通政策とは何なのか、実際に意識改革をしていただきたい。いったい何が必要なのかということ、私はいろんなところで20年やってきた。それを踏まえて、手を突っ込んで路線の見直しとかもやっている。そういった中で、こういうふうに考えないと破綻するよということ、私のウェブサイトとか検索していただくと、YouTubeでもたくさん出るので、特に新

しく来られた方はぜひ見ていただき、今の公共交通政策というのはいかようなふう  
にやろうとしているのだというのを考えていただきたい。私自身、国の委員もず  
っとやってきており、今の制度の多くは自分の提案でできたもので、そういう責  
任も持っている。なんでこういう制度になっているのか、ということについて  
は、ずっと考え続けてきたが、その考え方の良いところも悪いところも話してい  
る。ここは何かならないのかということを書いていただき、議論したいことが  
あれば書いていただきたい。

- ・ 次回の開催予定はいつか。

→次回は、11月頃の開催を予定しているが、路線の見直しが必要となれば随時開  
催をしたいため、改めて連絡させていただく。(事務局より回答)

- ・ 木曾川・北方の見直し、i-バスミニの改善など、喫緊の課題として捉えており、  
委員の皆さまにも協力をお願いしたい。

#### 4. 閉会